

「もったいない」から「ありがとう」へ

フードバンクにいがた



ふーどん通信

ふーどん通信 No.10 2017年3月春号

発行：フードバンクにいがた事務局

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-2

Tel 025-384-4466 Fax 025-384-8224

E-mail: fbn@roukyou.gr.jp

長岡センター Tel 090-2142-6119

フードバンクは挑戦だ！

NPO 法人化にはワケがある

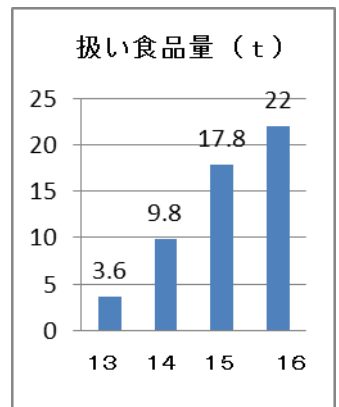
～さらなる活動継続に向けて～ 代表 高見 優

拡大と共に人材・資金不足に直面

フードバンクにいがた（FBN）の設立のきっかけは、「米どころ新潟でも明日のコメに事欠く人がいる」と聞かされたことからでした。会報8号にも記している様に、最初は、「お米1合持ち寄り」からスタートした有志の運動でした。2013/7～2014/3までに扱った食品量は3.6t、30カ所に提供することができました。当初は法人化の議論もせず（それどころではない）、とにかく余剰食品を集め、必要とするところに食品を届けるフードバンクシステムの構築を急ぎました。また、どれ位食品が集まり、どれほど提供先が見つかるか予測が付かないので、あまり縛りのない任意団体として一步を踏み出したのです。ところが2年、3年と活動規模は右肩上がりに大きくなります。活動2年目の扱った食品量は9.8t、提供先は50カ所。3年目は17.8t、60カ所。4年目は22t、85カ所。このように活動規模は拡大する一方となり、それを支える人材と資金難の解決が常に課題として迫って来ました。

活動継続のために

2015年は、貧困格差問題がクローズアップされた年でした。しかも、生活困窮者自立支援法が施行された年でもあります。この法律の「自立相談支援事業」に則って、2012年に始まったモデル事業「パーソナル・サポート・センター」へのFBN食品提供量は飛躍的に増大しました。私たちの活動は少しずつ認知される様になり、子ども食堂など多くの地域・団体から新たな需要が増えるなど、社会情勢からいよいよ大きな役割を担うべき団体になって来ました。FBN活動に対するニーズはこの先も益々増えるものと思われまます。従って、もはや一刻の猶予もなくフードバンク活動の継続可能性を広げるべく、法人化に踏み出す時が来たと思います。法人化することで（NPO法人を検討）、責任体制を明確化し、社会的信用を増し、寄付、助成金、事業受託などの資金調達のチャンスを増やし、活動の継続を図りたいのです。以上のことを皆様にご理解ご賛同いただきたいと思ひます。



2017 年度総会のご案内

開催日：5月13日（土）

時間：13時～14時

場所：ほんぽーと 3階

*会員の方には別途総会案内を同封します。

総会記念シンポジウム 15時～16時45分

テーマ：「こどもの明るい未来を繋げよう!!—ひとり親世帯を支える地域の力—」

パネラー：母子寡婦連合会小林和代副会長、県福祉保健部児童家庭課水品きく

枝課長、市社協地域福祉課母子生活支援施設さつき荘小野寺りち施設長

ライオンズクラブ土田美千代新潟県FWTコーディネーター、

コーディネーター：県立大学小池由佳准教授（新潟市子どもの貧困対策部会会長）

県子どもの貧困実態調査結果

県は、昨年「子育て世帯調査」を実施し、その結果をインターネットで公表しています。それら結果の一部、食の貧困に関する部分だけを抜粋して紹介します。(番号は調査項目)

⑥子どもが1週間に朝ごはんを食べる回数

「毎日食べる」の回答は90.1%。一方、「食べない」の回答は0.9%でした。

⑦子どもだけの食事の状況

「まったくない」の回答は39.6%。一方、「よくある」の回答は6.8%でした。

⑬お母さんの就労 81.4%のお母さんが働いています。無収入は0.6%でした。

⑰世帯収入 400万円未満が33.9%となっています。

⑳困窮経験 「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した割合は、食料では15.5%、衣料では22.6%となりました。

㉔公的制度を知らない 「制度を知らない」割合が最も多いのは「K.生活福祉資金貸付金」(56.9%)、次いで「J.母子父子寡婦福祉資金貸付金」(50.8%)、「G.スクールソーシャルワーカー」(42.7%)となっています。

わくわく映画情報

「失業者、生活困窮者」、私は記号ではない。人間として自分の名前を叫ぶ。「わたしは、ダニエル・ブレイク」。ケン・ローチ監督の最高傑作。複雑な国の援助制度に翻弄され、人の尊厳を踏みにじられながらも、元大工のダニエルは、同じく貧困にあえぐシングルマザーのケイティと子どもたちを助ける。そして… 4月29日(土)から、シネ・ウインドにて上映。当団体も応援します。

こども食堂の展望

～地域が違えば、かたちも違う～

新潟では、昨年いっきに子ども食堂が増えました。身近にいるかもしれない食に困っている子どもを支援するというのが多くの人の心を掴んだものと思われまます。そして、数カ月も経たないうちに見えて来たのは、「子ども食堂」の活動目的と運営の多様性です。貧困の子どもの食支援をする。貧困を問わず子どもに豊かな食体験をしてもらう。高齢者も含めて地域の食の安心を目指す。高齢者から子どもへ地域の食文化の継承を試みる。さらに、食を核にして地域の絆を再生、再活性させる。等々と、「子ども食堂」の役割は広がりを持って来ました。

当FBNは、これからの「子ども食堂」がどうなって行くのか、その多様な進展に注目し、「子ども食堂」の今とこれからについて「子ども食堂」を紹介したいと思っています。



「こどもの茶の間」 (新潟市東区で昨年、6月にスタート。主宰者は細野弘康さんと由奈さんの夫妻)

こどもの茶の間は、子ども達とその保護者を中心に、地域の人達を含めたみんなの居場所です。そして、自由な時間や安心できる空間をつくり、みんなで楽しく夕食を囲む場所です。

こどもの茶の間の主な特色は食事。子ども達に栄養のバランスが取れた食事をと、意識して極力無添加の食材や手作りの調味料等を使用しています。また、「親子料理教室」を開催し、親子で触れ合いながら食育について考える機会の提供もしています。

他団体との連携も特色の一つです。保育園との連携として人気メニューのレシピを聞き、食べやすく栄養価の高い食事の提供をしています。園の保護者へのチラシの配布やボランティアのご協力もいただいています。また、サツマイモの作付けをしているボランティア団体から、収穫祭にお招きいただき、親子で自然に触れる環境も提供をしています。

子育て真最中の夫婦二人で始めた食堂の目標は、これからも誰でも気軽に集える居場所として「継続」していくことです。そのことによって生まれるものを楽しみに待ちながら運営をしていきたいと思っています。

子ども食堂に関心のある方

子ども食堂ネットワーク 事務局

電話：03-5365-2296 FAX：03-5365-2298

メール：info@kodomoshokudou-network.com



生活困窮者支援に関心のある方

新潟パーソナルサポートセンター

電話：025-385-6851 FAX：025-385-6852

メール：niigata-pscenter@bz04.plala.or.jp

近年、社会からの企業・団体へのニーズは多様化し、ステークホルダーへの還元だけではなく、社会への貢献「CSR活動」が重要視されています。

JU 新潟では、自動車オークションを運営する団体として「車を通じて自動車社会・地域社会に貢献すること」をモットーに今までも交通遺児の支援活動、新潟県社会福祉協議会にAEDの寄贈、また老人介護施設などに車いすの寄贈も行ってきました。

2年ほど前に、メディアを通しフードバンクにいがた様の活動を知り、何か活動のお手伝いをさせていただければと思い、初めは寄付金による支援をさせていただきました。さらに食料の運搬配送などはボランティアの方のマイカーを使用していることを知り、自動車関連団体として貢献できる絶好の機会と考え、車輛の寄贈をさせていただきました。

資金はもちろん提供された食品の管理、ボランティアの確保など、食品を扱うことは難しい活動であると容易に想像できます。しかしながらフードバンクにいがた様の活動は、子供達の命を救う重要な活動で、子供達の将来、さらには将来の社会に直結するものであり、食に困っている子供達がいる限りはストップさせてはいけない活動です。

微力ではありますが、今後も継続的な支援をさせていただき、少しでも活動に協力させていただければと考えています。 JU新潟 事務局



JU 新潟様から寄贈された車

昨年12月16日、日産 NV200 フードマーク入りの車両1台を寄贈して頂きました。この事は新聞、TVにて報道されました。早速当日、大量食品寄贈先2社を訪れ食品搬送に活用しました。

Waste not, want not.
無駄なければ、不足なし

ひなあられ 食べ残されて ヒマあられ

就職しました！ 職場体験者から

「食の支援をする」に加えて「食を得ていく方法も提供する」という当団体の活動の中で若者のジョブトレーニングを引き受けて来ました。その中で二人の研修者が就職を果たしました。その一人岩橋さんから感想を頂きました。

「私は主に賞味期限や内容量を記帳する仕事を担当しました。担当した食品が提供されたのを見た時、嬉しさが込み上げました。美味しく食べられている姿が想像できたからです。私はフードバンクでの経験を通して「仕事は人と人とを繋げる」と実感しました。現在、仕事に就いていますが、この経験は支えになっています。」

また、職場体験をした学生阿部さんからも感想を頂きました。

「私は最初、何をやる所なのか知りませんでした。なので、楽しみより不安の方が大きかったです。行ってみると色々な方と支え合っている素敵な所だと知りました。ここでは、仕分けなど色々な体験をさせてもらいました。その事が嬉しくて体験機関が1ヶ月でしたが2か月に伸ばしてもらいました。そのお蔭で施設の方に話を聞く機会があり、どんな人に届けられているのかなど、この大切さを改めて知ることが出来ました。」

会員・ボランティア随時募集中!!

◆今後のフードドライブの予定 ◆

- 4月10～20日 長岡市社協（原則偶数月の10～20）
- 5月10～20日 ながおか医療生協（原則奇数月の10～20）
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 新潟市中央区万代シネ・ウインド
- 毎月第二土曜日 10:00～12:00 北区豊栄さわやか老人福祉センター
- 毎月20日 10:00～12:00 南区白井デイサービス「うすい」内
- 毎月第三土曜 10～12時 新潟市いくとびあ食花JAきらきらマーケット内
- 毎月月末金曜日 10:00～12:00 新潟市東区区役所社会福祉協議会内
- 毎週月・木 新潟市西区小針ささえあいコミュニティ生協新潟内
- 業務時間内 新潟市江南区横越「えんではよこごし」
- 業務時間内 新潟市西区上新柴町「けやき食堂」
- 業務時間内 新潟市中央区社会福祉協議会(古町コジジ会館3階)内
- 業務時間内 新潟市中央区西堀地下よろっ to ローサさま内
- 業務時間内 新潟市中央区新光町勤労福祉会館4階フードバンク事務局
- 業務時間内 新潟市南区「白根健康福祉センター」内

4月30日(日)、13時と15時の2回、クロスバルにて、映画「0円キッチン」上映。入場料：1000円。フードドライブもやります。

「0円キッチン」はジャーナリストのダーヴィドが食料廃棄を無くすため、廃油で走るキッチン・カーでヨーロッパ5ヶ国を巡り、廃棄食材クッキングの旅に出るエンターテイメント・ロードムービーです。

主催：コミュニティシネマにいがた 問合せ先：c.cinema.niigata@gmail.com

ふーどんの活動日誌

- ・1月11日から2ヵ月 明鏡高校ジョブトレーニング2名受入。
- ・2月3日、新津地域学園にて県高校職員組合対象の講演。(山田、真木)
- ・2月4日、UXTV 朝番組で子ども食堂(まんまる食堂)と共に紹介される。
- ・2月11日、敬和学園大学インターンシップ発表会。(真木、横山)(写真下)
- ・2月20日、FM新津の福祉番組で紹介。
- ・2月24日、ながおか市民協働C「Reのもーれ」でPR活動。(山崎)
- ・2月25日、JP労組対象にフードバンクについて講演。(山田)
- ・2月からフィットネスクラブ「カーブス」さま県下5カ所と食品支援の連携。



♡ご協力 ありがとうございます♡

29年度3月1日現在 団体・個人会員(敬称略・順不同) (個人会員 117名)

- ・阿賀野市社会福祉協議会 ・オフィスサポートきずな ・自立援助ホームたいむ ・新潟県労働金庫 ・燕市 ・連合新潟
- ・NPO 法人女のスペースにいがた ・(一社)新潟県労働者福祉協議会 ・新潟県総合生活協同組合 ・連合中越地域協議会
- ・全農林労働組合新潟分会 ・石山味噌醤油(株) ・菊水酒造(株) ・有限会社大島鉄工所 ・UAゼンセン原信労働組合
- ・(一財)新潟県ろうきん福祉財団 ・情報労連新潟県協議会 ・日本郵政グループ労働組合新潟連絡協議会 ・原信(株)
- ・NPO法人スマイルサポート新潟 ・一般社団法人パラシュート ・ワーカーズコープ北陸信越事業本部
- ・新潟県高度情報社会生活支援センター ・一般社団法人ノブレス・オブリージュ ・日本共産党新潟市議会議員団
- ・(株)アートグラフィック新潟 ・新潟市議会議員公明党 ・ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 他

28年度3月1日現在 寄付金(敬称略・順不同) (2016年4.1～2017年3.31)

南美佐子、小泉直子、粹虎卯会、原信、大西和子、藤由栄子、イオンリテール、日本基督教団新潟協会、敬和学園高校

26年度4月～ 食品寄贈団体・企業(敬称略・順不同)

- ・ささえあい農場・阿賀野市社会福祉協議会・新潟県労働金庫・石山味噌醤油(株)・大和ハウス工業(株)・福田組(株)
- ・JP労組ユースネットワーク・五泉市役所・粹虎卯会
- ・丸栄製粉(株)・亀田製菓(株)・角利産業(株)・新潟市他

28年度12月現在 受入施設・団体(敬称略・順不同)

- ・地域活動C石山 ・ライフデザイン・NPO 子どもセンターぼると・新潟天使園 ・スペースひなた ・たいむ ・SCLLC
- ・新潟県、新潟市、長岡市パーソナルサポートC・NPO ピュアはーと ・FLIP・女のスペースにいがた 等の85団体

この他、寄贈いただいた一般家庭の皆様、生産農家の皆様、フードドライブを開催して下さった皆様、支援をいただいた会員の皆様に改めまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。